

生産調整は農家・産地任せ！

わずかな需給の変動で米価は乱高下！

政府が中小つぶし、業界再編を後押し！



こんなときだからこそ 産地まるごと届けたい！

2018 米屋さんと生産者をつなぐ交流会ご案内

東京会場

各位

炎暑の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は私どもの取り組みにご理解とご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

さて、みなさまは昨年の秋以来、米の手当てや価格改定などの対策で大変ご苦労されたことと思います。ところが、この秋は逆のパターン＝過剰と米価の下落や激しい価格競争＝が懸念されています。

なぜ短期間にわずかな作柄や需給の変化で価格の激変が...？ 今年産米から政府は生産目標数量の配分をやめ、需給と価格の安定対策を放棄する米政策に転換しました。米価を市場任せにする一方、国の後押しで業界の再編・淘汰をすすめているのです。ここに大企業の成長と利益を優先させるアベノミクス農政の本質があります。

その上、政府はTPP11の強行でオーストラリア米の輸入を増やし、アメリカ米もトランプ氏の押し付けを受け入れることになりかねません。米農家も中小の米屋さんも、そして国産の米もますます危機にさらされようとしています。

私たちは米業者、消費者のみなさんともども「国は米の需給と価格の安定に責任を持つ」とこの声をおおきくし、「国産の米を守れ」の運動を広げたいと思っています。

いま、農村地域の疲弊は激しく、危機的な状況が進んでいますが、わたしたちは担い手づくりにも力を注ぎながら、米を作り続けます。そして、こんなときだからこそ、がんばる町の米屋さんを手を携えて、大手とは違う“もうひとつの流れ”を太く大きくして行きたいと思います。

交流会では生産現場からの直近の作柄や情勢を報告し、お米屋さんからも率直なご意見をいただくなど交流を深め、産地と消費地のパイプをさらに広げたいと考えます。ぜひご参加いただきますようご案内致します。

日時 2018年 9月2日(日)

交流会：14時～16時30分(参加費無料)

終了後、別会場で懇親会を予定(会費4,000円程度)

会場 文京区民センター 3-A会議室 (3-A会議室)

東京都文京区本郷四丁目15番14号 03-3814-6731(裏面地図参照)

申し込み・お問い合わせは

農民連ふるさとネットワーク 〒173-0025 東京都板橋区熊野町47-11

電話 03-5966-2250 fax 03-5966-2253

Mail: n-fnetw@nominren.ne.jp

